

## 私の仕事と転職と

第2期 OG 澤田 ひかる  
(旧姓 矢富)

### —グロービスを知っていますか？

“グロービス”という名前をご存知でしょうか。社会人を対象としたビジネス・スクールや、MBA の取れる専門職大学院、企業研修、ベンチャーキャピタルを主な事業とした会社です。紺地に銀のラインが入ったこんな本、見たことありませんか？MBA 本シリーズとして知られ、学術書にしては、圧倒的な売れ行きを誇る本です。これも知らないとなると、ちょっとモグリかも？なんて。



小野ゼミ OB・OG の方は、興味をお持ちの方も多いかもかもしれません。“MBA” や、“ケースで学ぶマーケティング”といった単語にどことなく惹かれるようなら、一度、うちの体験クラスにいらしてみてください。あ、あと論理思考力を鍛える“クリティカル・シンキング”も、うちの看板商品です。

…と宣伝はこのくらいにして、ここでは、キャリアとか仕事とか、そういった話をしようと思います。

### —思いがけない住商への就職

私は、新卒で住友商事（以下、住商）に事務職として入社しました。カケラも想像していなかった未来です。就活を始めた時の私には、“商社”という選択肢も、“事務職”という選択肢も全くありませんでした。なぜなら、私は英語が大の苦手。そして、自分は総合職として就職するのだという、根拠のない前提があったからです。それがちょっとしたきっかけで受けたところ、トントン拍子で、初の内定をもらうことになりました。その後、総合職として飲料メーカーやIT系の内定ももらいましたが、悩んだ末、住商に決めました。

住商の面接で意外だったのは、面接を受けていたコたちが、とてもしっかりしていたこと。正直、「事務職なんて、みんな腰掛けのノリで来るんだろなあ」と思っていました。知りもせず、心のどこかでバカにしていた自分が、恥ずかしくなったのを覚えています。実際、同期の事務職は、みな優秀でした。語学も堪能で、英語はあたりまえ。第2外国語もバリバリといったコが少なくありません。留学経験がないのは、実に私くらいでした…

### —セオリー通り、3年での転職

なぜ若者は3年で会社を辞めるのか。自分が社会人になる前は、「近頃の若者は～」と思っていました。もうちょっと我慢しろよと、偉そうに思っていたわけです。ところが珍しく時流にのってしまい、私も約3年で住商を辞め、グロービスへ転職しました。1年目は、仕事を覚えるのに必死。2年目は、仕事をまわ

せるようになって、いろんな工夫をするようになる。3年目になると、社内の状況はだいぶわかってきます。この場所で仕事の幅や奥行きを広げるのか、それとも全く違う世界へ踏み出すのか。私の出した答えは後者でした。

「やっぱりマーケティングに携わる仕事がしたい。」そう思って転職活動をしていたわけですが、未経験でマーケティングをやらせてくれるところなんて、そう簡単には見つかりません。いろいろ悩んでいくうちに、「業種や職種を絞らず、私に合いそうなところがあったら紹介してほしい」と人材紹介会社に希望したところ、グロービスを紹介されました。+αの力をつけようと頑張っている社会人たちの、応援をする場所。「ここなら、何をやるにしても面白そう。」そう思えたのが、決め手だったように思います。

### ——マーケティングチームへの異動、そして今思うこと

はじめの配属は、サービスの部署でした。受講生からの問い合わせに、電話やメール、対面で答えたり、学校の制度自体を作ったり。シフト生活で大変でしたが、受講生と接することのできる、いわゆる“現場”。このときの経験があるからこそ、今の仕事の楽しさがあります。昨年に異動願いを出して、今は、念願のマーケティングチームの一員となりました。教育という事業の性質上、Product, Price, Placeはそう変わらないので、Promotionがメインです。しかもなんの因果か、大学院のWebサイトを主に担当しています…(苦笑)。この会報が手に渡るころには、ちょうどWebサイトがリニューアルされたころなので、よかったら覗いてやってみてください (<http://mba.globis.ac.jp/>)。

マーケティングの仕事に就けた今も、仕事や将来のことで悩みます。でも、“キャリア形成論”みたいなものは、あまり信じていません。“何になりたいか”より、“何をしたいか”。そこに目を向け続けることが、大切なような気がするからです。あとは、「今だ」と思ったときに行動すること。いずれにせよ、目の前の仕事を一生懸命やることには変わらないし、この先、何をやるにしても「だって他に行くところもない」といった言い訳だけはしないようにしたい。自分の居場所を自分で選べる、そういう大人でありたいなと思います。

「思ったことは言葉に。思ったからには行動に。ただし、思いやりを忘れずに。目指すは凛とした、強くしなやかな女性。」大学卒業時の思いは、今も変わらず残っています。

追伸：昨年の秋に結婚しました。3月に挙式予定です。まだ新しい名字には慣れませんが、これからもよろしくお願ひします。



ご主人と